

「教会の交わり」

1) ストーリーの概略 (イエスの弟子たちへの教え)

前章 22 章後半ではパリサイ派サドカイ派との論争、その文脈の中で…

・律法学者・パリサイ人たち

i モーゼの座についている

ii 言うことと行いが合っていない

iii 人には重荷をくくり、自分は助けない

iv 人に見せるため

v 上座・上席が大好きで、あいさつされたり先生と呼ばれたい

・イエスの教え

i 先生      →      あなたがたは兄弟です

ii 父        →      天の父だけです

iii 師        →      キリストだけです

iv 一番偉大な者      →      仕える人です

v 自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされます

2) ポイント

イエスのみこころ

3) (説明)

i 人と人との関係

・律法学者・パリサイ人と民衆との関係

・罪を教える

・社会倫理的にダメであっても、それを支える民衆がいる → 最初は区別があった → 差別になった → 尊敬 → 怒り → もとに戻すには? → 負の連鎖?

・和解 → 妥協になり      被害者 → 加害者になり

・弟子たちの関係

・新しい基準、新しい生き方を教える

イエスを信じた者 (新しく生まれた者) として新しく生きる

あなたがたは力をうけます (使徒 1 : 8)

その教会はイエスにあってフラット、家族的な、精神的な差別のない

・聖霊の働きによって (使徒 2:1~4)

教会は人がつくったのではなく、聖霊の働きと信じる人々によって…

マタイ・マルコの福音のはじめ

悔い改めて神の国を信ぜよ (マタイ 4 : 17・マルコ 1 : 15)      アーメン